

2024(令和6)事業年度

決 算 報 告 書



2024(令和6年)事業年度 決算報告書

国立大学法人鳴門教育大学
(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,507	3,604	97	(注1)
施設整備費補助金	450	478	28	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	190	209	19	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	-	
自己収入	610	606	△ 4	
授業料、入学金及び検定料収入	574	568	△ 6	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	36	39	3	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	119	174	55	(注6)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	273	75	△ 198	(注7)
引当特定資産取崩	-	2	2	(注8)
計	5,170	5,169	△ 1	
支出				
業務費	4,417	3,920	△ 497	(注9)
教育研究経費	4,417	3,920	△ 497	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	470	498	28	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	164	185	21	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	119	159	40	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	5,170	4,762	△ 408	
収入-支出	-	407	407	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、光熱費等の物価変動への対応分として教育・研究基盤維持経費の予算が追加配分されたこと及び教育研究組織改革として令和5年度に措置されていたものを繰越したことにより、予算額に比して決算額が97百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった南前川(附属小学校)長寿化促進事業に伴う予算が交付されたことにより、予算額に比して決算額が28百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金が25百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しておりません。また、当初予算段階で予定していなかった教員講習開設事業費等補助金をはじめとする各種補助金の交付を受けたこと等により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として入学者及び入学志願者の減少等により、入学金及び検定料の収納額が見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として、不要物品売払代金の受入が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として、国及び独立行政法人からの受託事業の受入、並びに、鳴門教育大学基金に係る寄附金受入が増加したため、予算額に比して決算額が55百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が198百万円少額となっています。
- (注8) 引当特定資産取崩については、予算段階では予定していなかった上扉式電気陶芸炉を取得したことにより、予算額に比して決算額が2百万円多額となっております。
- (注9) 業務費については、主として、教育研究経費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が497百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が28百万円多額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が21百万円多額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が40百万円多額となっています。
また、決算額159百万円には、前年度以前における寄附金の繰越額を当年度に執行した金額3百万円を含んでおりません。